

赤れんが

平成十二年の新成人はブラウンハイムで十九名

『おめでとうございます』

●青少年部

平成十二年

新成人となられた

皆さん

(敬称略)

・高橋 まさえ

二十一―一―一〇六

・木内 志摩

二十一―一―二〇三

・野口 早依子

二十一―一―二〇四

・宮崎 健次

二十一―一―三〇五

・戸川 安俊

二十一―一―一五〇

・村山 由夏

二十一―二―二〇二

・豊嶋 沙奈恵

二十一―二―四〇一

・柴田 千花

二十一―二―五〇四

・照沼 由希

二十一―三―一〇四

・由井 恵

二十一―三―三〇三

・黒川 久恵

二十一―三―三〇四

・重松 謙介

二十一―三―一五〇

・矢田 直子

二十一―五―四〇三

・嶋津 陽子

二十一―一―二〇六

・重田 明日香

二十一―一―一五〇

・入谷 亨

二十一―一―一三〇

ムイ会 1号 2月
ハ会 8号 2月
ン治 紙第 12年 2月
ラ自 報 12年 2月
ブ広 平 成 12年 2月
平 成 12年 2月
発 行 責 任 者
加 藤 勢 津

・亀山 尚弘

二十一―三―三〇五

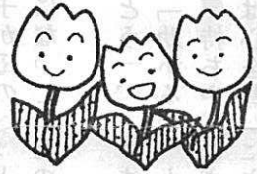
・稲村 朋子

二十一―三―四〇六

・渡邊 修治

二十一―三―一五〇

以上、十九名の皆さんが二十世紀最後の年に新成人となられた皆さんです。おめでとうございます。輝かしい未来を歩まれることをお祈りいたします。



●文化部

クリスマス用品の創作

今回は大人十三名、子ども五名、幼児一名の参加がありました。

大人向けには、手芸的な要素を取り入れた写真立て、フェルト地を網込んで作るハート型のポプリ入れ、小学生・幼児向けには、ビーズ、木の実、モール等で自由に創作するワッペン、クリスマスリース作りを行いました。

行き届かない面が多々あったかと思いましたが、参加された方から「自分だけでやろうと思ってもなかなかできないので、とても良かったです。」などの感想を頂き、文化部三度目の最終企画も盛会に終了することができたのではないでしようか。

十時からお昼までの短時間でしたが、普段馴染みのない手芸で私達自身も楽しいひとときを過ごすことができました。

参加された皆様、どうもありがとうございました。



●お知らせ

半透明ゴミ袋使用の実施にご協力を

平成十二年二月より、中身の見えない袋や箱に入ったゴミは回収されません。ご注意願います。

『おもちつき大会』

いかがでしたか

磯 香代子

一月九日(日)おだやかな小春陽和りの中 おもちつき大会が行われました。

今年の実行委員がほとんど女性だったので準備段階では不安材料が一杯ありましたが、仕込みに入ると管理組合、ぶらうん倶楽部その他大勢の方々にお手伝いをして頂いて、無事楽しく終える事が出来ました。お手伝いをして頂いた皆様本当にありがとうございました。

多少大ききの違うおもちや、けんちん汁のカップが足りなくなったりはしましたが、素人の手作りという事で笑って許して下さい。

つきたてのおもちにどっさり作ったけんちん汁のお味はいかがでしたか? 今年 参加できなかった皆様も来年はぜひ参加してみして下さい。実際 参加してみると楽しいですよ。

訃報

二十一―四―三〇二

藤好 芳子 様

平成十一年五月五日に永眠されました。

行年 七十七歳

二十一―四―三〇二

藤好 秀生 様

平成十二年一月十五日に永眠されました。

行年 八十二歳

心より、ご冥福をお祈り申し上げます。



特 別 企 画

私たち、第二十二期（平成十一年度）自治会役員会では発足当初より「会員相互の親睦を通し、高齢化社会に向けて社会福祉の推進を図る」という活動方針をかげてきました。

任期が残りわずかとなりましたが、私たちが発行する最後の『赤れんが』で特別企画として、長年、ご主人のお父さま、お母さまのお世話をなさった経験のある住民のお一人として二十一―二に、お住まいの鷺田晶子さんにお願ひして手記を投稿していただきました。

高齢（化）社会から高齢社会に移行して行く真っ只中を生きる私たちの参考にしたいと考えました。

父・母が 教えてくれたこと

鷺田 晶子

主人の両親と同居したのはブラウンハイム入居の年です。二十年以上前のことです。

あと数日で九十一歳の誕生日を迎えるという、五年前の阪神大震災の日、母は亡くなりました。

その三年程前から、物忘れが多くなり、最後の一年間は寝たきりでした。

それでも晩年の母は、入浴サービスの方々も驚く程心やさしく、豊かな感性と感謝の気持ちに満ちあふれ

ていたのです。

「おいしいから、パクパク食べてしまうけど、作るのは大変よね、茶碗洗いは私にさせてね」と言われれば、できないことはわかっているのですが、その気持ち

がうれしくて母をいとおしいと感じました。

か細くなった腕で、一生懸命自分の枕を引っ張っているの

と聞くと、「あの子に、貸してあげたいの」と言います。

見ると、息子が母のベッドのそばで横になっていたのです。

「ありがとう」、「すまないわ」、「助かるの」という感謝の気持ちや、ねぎらいの言葉は心を豊かにさせ、私は寝たきりでも人を「幸せ」にできるということ

を母から教わりました。

昨年九十五歳で亡くなった父は、幹の会・集いの会には格別の思いがあったよう

で、気力が衰えがちな時でも、会のある日は床屋へ行ったり、風呂に入ったり

生き生きしていました。

そんな父を見ると、人と触れ合う事の大切さを感じた

ものです。

いくつになっても、すばらしい判断力で、適格なアドバイスをしてくれた父は

私の心強い味方でした。

そんな父母の生き方は、「人生で大切なものは何か」

を、教えてくれた気がします。

振り返ると、ご近所の皆さんに助けられ、地域に支えられながらの日々でした。

たくさんの人にお世話になり、励ましの言葉を戴いた事に、感謝の気持ちで一杯です。

第23回ブラウンハイム自治会 定例総会の開催日時が決まりました。

日時：平成12年4月9日（日）
午前10時00分～11時00分

場所：ブラウンハイム集会所

大勢の皆さんのご出席を期待しております。

